

令和5年度豊田市民芸館 企画展

柳宗悦と愛知の民芸



端折傘（扶桑）

- [会 期] 令和5年7月1日（土）～9月24日（日）
[会 場] 豊田市民芸館 第1・2民芸館 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100
[開催概要] 開館時間 午前9時～午後5時
休 館 月曜日（ただし祝日は開館）
観 覧 料 無料
主 催 豊田市民芸館

[展示概要]

民藝運動の創始者・柳宗悦（1889-1961）は、昭和5年（1930）に瀬戸の石皿を調査、昭和12年に本郷村（現・東栄町）のざげち（切り紙）調査のために愛知県を訪れました。柳はこうした調査を民藝の同人たちと全国にわたって行っており、著書『手仕事の日本』（昭和23年発行）では、昭和15年頃の日本の手仕事の現状を書き記し、日本固有の手仕事による美しさと、それを継承していく大切さを啓蒙しました。また、柳は昭和31年に名古屋市の鉦薬師で初めて円空仏を目にし、『民藝』81号（昭和34年発行）では円空仏の特集を組み、「この稀有の彫像に全く驚愕し、圧倒される程の感銘をうけた」と述べています。

今回は『手仕事の日本』で紹介された瀬戸・犬山・常滑のやきもの、扶桑の端折傘、有松鳴海の絞り染め、三河木綿、足助紙、菟足神社の風車、花祭のざげちといった愛知県の手仕事と、円空仏や円空の書を館藏品より約200点紹介します。

[関連事業]

○特製和菓子

茶室勘桜亭での呈茶に、展示品をイメージしたお菓子を提供
日 時：7月15日（土） / 9月9日（土）
場 所：茶室勘桜亭 営業時間：午前10時～午後4時
料 金：一服450円、各日40個限定
（なくなり次第通常の和菓子での提供）
協 力：井口製菓舗

○ギャラリートーク（展示解説）

日 時：8月26日（土）
午後2時から1時間程度
会 場：第1民芸館集合
定 員：先着15名程度（事前申込み不要）
聴 講：無料

※日程や内容に変更が生じる場合があります。最新情報および関連事業の詳細については当館ホームページでご確認いただくが、電話にてお問合せください。

・展示内容に関するお問い合わせ
豊田市民芸館 岩間（いわま）

・広報画像提供に関するご依頼
豊田市民芸館 佐敷（さしき）

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

Tel:0565-45-4039

E-mail:mingeikan@city.toyota.aichi.jp

Fax:0565-46-2588

企画展 柳宗悦と愛知の民芸 広報用画像について

画像等の資料をご希望の方は以下を記入の上、Fax か e-mail でお送りください。

送り先：豊田市民芸館 佐敷（さしき）

Tel:0565-45-4039 Fax:0565-46-2588 e-mail:mingaikan@city.toyota.aichi.jp

お名前		様
ご所属		
Tel		
Fax		
e-mail		
掲載紙／メディア名		
発売、放送予定日（雑誌の場合は〇月号）		
必要な画像等の番号		
必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）*		枚
鑑賞券の送付先*	〒	

* 読者プレゼント等のため希望する場合のみご記入ください。

広報用貸出画像 作品キャプション

1  端折傘（扶桑）	2  軍配文石皿（瀬戸）	3  鳥居文ざげち（東栄）	
4  白木綿反物（三河）	5  牡丹刷毛蓋物（瀬戸）	6  雲錦手播鉢（犬山）	
7  足助紙（豊田）	8  円空書「八百万大明神」	9  菟足神社風車（豊川）	10  亀甲文白影絞り浴衣（名古屋）

資料の使用には以下の点にご注意ください。

- ・ 作品写真の文字のせはご遠慮いただき、キャプションを表記してください。
- ・ ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですが、ゲラ刷り等をお送りください。

豊田市民芸館使用欄

画像提供の依頼日 年 月 日

画像送付 校正 修正 配信・配本